

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 デジタルツアーを活用した誘客促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111 (内 3075)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,058 千円 (前年度予算額： 5,058 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,058	0	0	0	0	0	0	0	5,058
要求額	5,058	0	0	0	0	0	0	0	5,058
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、外国人観光客は減少し、国内観光客も外出を自粛するなど、県内の観光事業者はこれまで経験したことのない非常に厳しい状況にある。そのような中、国内観光客も近場の旅行が主流となっている。一方、アフターコロナ・観光需要の回復を見据えて、大都市圏へのプロモーションを継続して実施することは不可欠である。

そこで、現地へ行かなくても旅行気分が楽しめるオンラインツアーを、岐阜県観光を知ってもらおう新たな手法として、プロモーションに活用するとともに、その後、現地を訪れる実際のツアーを企画することで誘客につなげる。

(2) 事業内容

・オンラインツアーを活用したプロモーション事業 (5,058 千円)

ZOOM等を活用したオンラインツアーを実施し、現地の人との交流を通じて岐阜県観光の具体的なイメージを持ってもらうとともに、実際に旅行商品として販売し、本県への誘客を促進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域にまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,058	オンラインツアーを活用したPR
合計	5,058	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

愛知県…令和3年度に、名古屋市の観光をPRするオンラインツアーを実施

三重県…令和2年度に、聴覚障がい者を対象としたオンラインツアーを実施

(3) 後年度の財政負担

閑散期における緊急的なコロナ対策であることから、後年度の財政負担はない。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

コロナ禍で旅行を自粛せざるを得ない状況下、岐阜県への訪問需要を継続させ、自粛等解除時の誘客を促進し、観光消費額、入込客を増加させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					(R7)	達成率
① 観光消費額	2,933億円 (R1)				3,300億円 (R7)	%
② 観光入込客数（実数）	4,800万人 (R1)				4,900万人 (R7)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	新型コロナの影響でインバウンドが見込めない中、国内宿泊を促進することは必須であり、事業者からの需要喚起策実施要望も強い。コロナ禍では有効かつ効率的な事業。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) —	
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) —	

(今後の課題)

令和3年度は、単なるオンラインツアーで終了させず、来訪できる募集型ツアーを実施。
--

(次年度の方向性)

令和3年度の実施実績を踏まえ、引き続き、プロモーションを実施するとともに、県の観光資源の掘り起こしに資するオンラインツアーを実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	